

令和元年第2回宮代町国民健康保険運営協議会
(会議の概要)

1. 開閉日時 開会 令和元年8月8日(木)午後1時30分
閉会 令和元年8月8日(木)午後3時37分
2. 開会場所 宮代町社会福祉協議会 2F 会議室
3. 出席委員 田口孝雄委員、中島敏郎委員、関根幸喜子委員、稲山貞幸委員、小菅 忠委員、
鷺谷由紀夫委員、澁木秀雄委員
7人(定数12人)
4. 事務局 高橋課長、草野副課長、村山主査
5. 会議の公開 公開
6. 会議内容
 - ・開 会
 - ・委嘱状交付
 - ・会長あいさつ
 - ・議 題
 - (1) 報告事項
 - ①国保税条例の一部改正について(6月議会の報告)
《資料1に基づき事務局より説明》
【意見、質疑等】
 - ・資料1の例2に年金収入2世帯(夫269万円、妻120万5千円)とあるが、この収入であれば軽減対象なのか?
⇒対象となる。
 - ②宮代町国民健康保険の運営状況について
《資料2に基づき事務局より説明》
【意見、質疑等】
 - ・町の総人口ですが、昨年の広報9月号で世帯数が25世帯減少したのを知りました。
最近も減少していると思いますが、何か傾向はあるのか?
⇒道仏地区の区画整理事業で一時期人口が増加していたが、地域内の人口増も落ち着き町全体では減少傾向になっている。
 - ・私の住む百間地区も最近新しい住宅が結構できたが、人口が減っているのか?
⇒転入者や出生による増加もあるが、それ以上に転出、死亡が多く全体では減少している。

- ・町で出している人口ビジョンの70歳以上は年々増加しているにも関わらず、国保の加入者が減っているということはどういうことなのか？

⇒町の70歳以上の人口が増えたからといって、国保の被保険者数が増加するとは限らない。家が増えても、ほとんどが会社員であれば社会保険加入となる。また、65歳以上でも仕事を続けていれば社会保険となる。また、年齢別の被保険者数のグラフがあるが、それを見るとキノコ型となっており、特に70歳から75歳の層が極端に多く、後期高齢者医療へ以降する人が多い。現在約8,000人の被保険者がいるが、5年後には激減し、5,000人台になることがわかっている。

- ・国保税の収納率が悪いので100%にしてもらいたい。収納対策もっと研究してもらいたい。（要望事項）

(2) 審議事項

①平成30年度宮代町国民健康保険特別会計歳入歳出決算(案)の承認について

《資料3に基づき事務局より説明》

【意見、質疑等】

- ・成果書3ページの被保険者数8,305人はいつ時点の数字か？
⇒平成31年3月31日時点である。
- ・成果書7ページの一般、退職被保険者の滞納繰越分の収納率が低い。収納対策をもっと研究してもらいたい。（要望事項）
- ・収納対策で取り組んでいる短期証や資格者証明書の発行は何件ぐらいあるのか？資料があればほしい。
⇒次回、資料を提出する。
- ・成果書P12ページ以降は歳出の事業ごとに記載されているが2、3ページの予算科目のどれに当たるのかわかりづらい。
⇒次回からわかるように表示の仕方を工夫する。
- ・成果書20ページで成果文の中に「ジェネリック医薬品の使用を促進することによって、被保険者の薬剤費の自己負担の軽減だけでなく、医療費の削減を図ることができました」とあるが、削減を図ることができたという理由は何か？
⇒ジェネリック医薬品の利用率が平成29年度3月末で73.4%だったのが平成30年度3月末では76.8%に上がったためである。
- ・原案どおりでよいか？
⇒了承

②令和元年度宮代町国民健康保険特別会計補正予算(第1号案)について

《資料4に基づいて事務局より説明》

【意見、質疑等】

- ・国民健康保険特別会計の会計年度のしくみは変更できないのか？

⇒一般会計に準じており変更できない。

- ・原案どおりでよいか？

⇒了承

③被保険者証と高齢受給者証の一体化について

《資料5に基づいて事務局より説明》

【意見、質疑等】

- ・資料中の一体化のメリットで受給者証の発行経費が削減とあるが具体的に何が削減されるのか？

⇒受給者証の郵便料である。杉戸郵便局からは、一体化を実施する場合7月の郵送件数が格段に増加するため、現在の簡易書留では対応できない。特定郵便でなければできないと条件を提示されている。

- ・原案どおりでよいか？

⇒了承

(3) その他

①今後の予定について

⇒次回は10月開催を予定している。

②埼玉県国保連合会理事長表彰について

⇒元国保協議会委員の上田悟氏、小尾憲子氏が県国保連合会総会で表彰されたことを報告した。

・閉会